

□

横浜発・海外ビジネス情報「WBC メールマガジン」
vol.156 (2016年5月31日号) 配信数：
発行：WBC 事業受託者 株式会社パソナ

□

本メールマガジンは、横浜ワールドビジネスサポートセンター（WBC）事業での各種アンケートで、「配信希望」とご回答いただいた方、ウェブサイトより「配信申込」のお申し込みをいただいた方、各関係機関および企業の方にお送りしております。

CONTENTS -----

▼1. <WBC 事務局より> ～お知らせ～

【WBC ホームページを更新しました】

▼2. <WBC 事務局より> ～お知らせ～

【WBC Facebook を更新しました】

▼3. <横浜市及び WBC 事務局より>

【WBC インキュベートオフィスのご案内】

▼4. <WBC 事務局より> ～コラム「世界のあれこれ」～

【日本本社は中国人事とどう向き合うべきか？】

▼5. <横浜市より> ～支援対象企業募集のお知らせ～

【「中小企業海外市場開拓支援事業」28年度支援対象企業募集のお知らせ ～8/31】

▼6. <横浜市より> ～出展助成申請受付開始のお知らせ～

【「海外展示商談会出展助成金」申請受付開始のお知らせ ～12/28】

▼7. <広報協力> ～IDEC よりお知らせ～

【韓国「釜山・鎮海経済自由区域」投資説明会～韓国経済自由区域を活用したアジア戦略とは？ 6/10】

▼8. <広報協力> ～IDEC よりお知らせ～

【上海デザインビエンナーレ 横浜ブース出展のご案内！ 9/1～3】

▼9. <広報協力> ～ジェットロ横浜よりお知らせ～

【神奈川県内企業様のための“新輸出大国コンソーシアム”をぜひご活用ください！！】



1. -----■□■

<WBC 事務局より> ～お知らせ～

【WBC ホームページを更新しました】

WBC ホームページでは、関係機関で開催されるセミナーやイベントのご案内などを発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.ywbc.org/>

WBC では無料でビジネス相談を受け付けております。お電話や来訪での相談のほか、インターネットからのお問い合わせも可能です。

↓WBC 海外ビジネス相談はこちらから

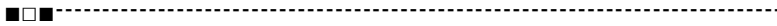
<http://www.ywbc.org/cgi-bin/contact2/contact2.cgi?lang=ja>

横浜ワールドビジネスサポートセンター (WBC)

横浜市中区新港 2 丁目 2-1 横浜ワールドポーターズ 6F

TEL: 045-222-2030 FAX: 045-222-2088

E-mail : open@ywbc.org



2. -----■□■

<WBC 事務局より> ～お知らせ～

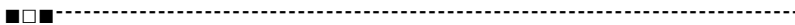
【WBC Facebook を更新しました】

WBC Facebook では日本国内の外国人及び海外へ向けて、英語で情報を発信しています。WBC サービスのご案内、横浜市の概要や特徴、立地企業へのサポート、海外企業向けの最新のお知らせなどを英文で掲載しております。

関連機関の HP のご紹介やイベント情報など、海外からの様々な情報も随時更新しております。

↓WBC Facebook はこちらから

<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>



3. -----■□■

<横浜市及び WBC 事務局より>

【WBC インキュベートオフィスのご案内】

WBC では、外資系企業が横浜市内に本格的なオフィスや拠点を構えるまでの「インキュベートオフィス」を提供しています。

このインキュベーターオフィスは、横浜に新たに設立された外資系企業（日本法人及び日本支店、駐在員事務所）向けで、入居後3年以上の事業計画があり、WBCを退去後に横浜市内に事業所を設置する見込みがある企業を対象としています。利用期間は3年以内となっています。

WBCに入居している間は、アドバイザーが相談支援を行い、WBCの会議室等を無料でお使いいただけるほか、横浜ワールドポーターズ内のイベントホール等も割引料金で使用可能です。また、WBCの各種媒体（ホームページ・メールマガジン）を企業のPR・お知らせ等でご利用いただけます。

↓WBC インキュベーターオフィスの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ywbc.org/office.html>

WBC インキュベーターオフィスにご興味のある方は下記までご連絡ください。

<お問い合わせ>

横浜市役所 経済局 誘致推進課 WBC 担当

TEL : 045-671-3834 FAX : 045-664-4867

E-mail : ke-wbc@city.yokohama.jp

■□■-----

4. -----■□■

<WBC より> ～コラム「世界のあれこれ」～

【日本本社は中国人事とどう向き合うべきか？】

～日本本社が中国人事を管理する上でのスタンスとそのポイント2～

みなさん、こんにちは。

前回は赴任者の内示から赴任への期間の短期化や、その中で日本本社は「会社の代表として企業理念や経営理念、今の経営方針を語り実践する」ということをミッションとして与えて中国に送り出すべきだ、ということをお伝えしました。

今回はなぜそのようなミッションを与えるのかということをお伝えいたします。

中国現地のローカルスタッフにとっては、赴任者本人そして日本本社が思っている以上に、赴任者が日本から送り込まれた管理監督者であり、「日本本社の代表」として赴任者を扱います。

もっと言えば、その赴任者を通して日本本社の姿勢を見定めていると言ってもよいかもしれません。

私が2012年に赴任した際、3週間弱で前任地の愛知県と中国法人のある上海、そして日本の東京本社を出張で往来、北京に赴任することとなりました。語学はおろか中国の現地事情等も全くわからず赴任しました。ですので、最初は自分が現地に引っ越したり生活に慣れるのに精一杯でした。

しかし、現地のローカルスタッフは、「日本本社の人間がやってくる」ということで、「本社はなぜ北京に日本人赴任者を配置したのか？」「何か本社は意図を持っているのではないか？」

という「本社」が主語で私を扱い、その人となりを見定めていたようです。

「何であなたは日本本社から派遣されたのですか？監視のため？」
とストレートにぶつけられたこともあります。

特に弊社の北京拠点には本社機能ではなくあくまでも「分公司（支店）」でしたので、
なおさらそのように思ったのかもしれません。
中には当初は「自分たちの現在の仕事のやり方を変えさすまい」「日本本社の意図通りには動かすまい」
という雰囲気すら感じられ、都度都度抵抗されたこともしばしばありました。

今思えば中国人特有の自己防衛気質（こちらは触れられる機会があれば改めてお伝えします）なのかと思いますが、
赴任直後何も中国を知らない私には、単なる抵抗心としか思いませんでした。

つまり、日本本社での勤務経験のない10数年愛知県だけで勤務してきた社員であっても、
3週間弱で急に赴任をしても、中国現地ローカルスタッフからしたら関係ありません。
彼らからするとどんな事情であれば赴任者は「本社の代表」には変わりはないのです。

「こんな短期間で赴任なんて大変だ」

「なんで中国なんて興味がないのに赴任させられたんだろう・・・」

こんな発言を中国人の前で話そうものなら、彼らの仕事へのモチベーション低下はもちろん
その後の信頼関係の構築にも大いなる悪影響を与えます。

逆に自社を語る人材として自社の理念の下で行動しているリーダーには
リーダーシップを感じてくれやすいと感じます。
赴任の第一段階においてローカルスタッフが一度共感さえしてくれれば
信頼関係の構築がよりしやすくなると思います。

赴任当初の赴任者の判断軸として、現地ローカルスタッフへのメッセージとして、
「本社の代表」である赴任者に自社を語り実践するミッションをまずはきちんと与える。
どうしてもビジネスにフォーカスしてしまいがちですが、敢えて日本本国から異国の地に
人材を送るといえるのは、そのような大前提があつてしかるべきかと思います。

赴任者にとっても、日本で会社の一員として仕事をしていれば、
どのような方向で会社が向かっているのかは日々の業務の中で理解されているはずで
1ヶ月で中国語を習得させるより、管理職経験がない中でマネジメントスキルを学ばせること
より、よっぽど簡単ではありませんか？

ただ、赴任者は日本で働いている以上にそれを意識し、行動していくことが必要です。
それを短期間で赴任準備する赴任者に対して自らの気づきで求めるのではなく、
送り出す本社側自身も強く、想いを持ってそのミッションを伝えることが大切と考えます。
赴任に際しての忘れられがちな大前提、
「あなたは本社の代表です、だから誇りを持って当社のことを伝えてきてくれ！」、
そんなシンプルなメッセージを、赴任者へのミッションとして改めてきちんと伝えてみて
はいかがでしょうか？

（執筆：パソナグループ 国際業務室マネージャー 三村 宗充）

■□■

5. -----■□■

<横浜市より> ~支援対象企業募集のお知らせ~

【「中小企業海外市場開拓支援事業」28年度支援対象企業募集のお知らせ ~8/31】

横浜市では、市内中小企業の海外ビジネスチャンスの拡大を図るため、中小企業海外市場開拓支援事業（平成 23～25 年度 中小企業海外販路開拓事業）を実施しています。

この事業は、海外市場開拓に意欲を持つ市内中小企業を公募により選定し、最大 3 年間、専門家によるアドバイスや展示商談会への出展費助成などにより、海外市場開拓の着手から商談実施まで一貫した支援を実施するものです。

今回、公募により、平成 28 年度の支援対象企業を 20 社募集します。

[募集の概要]

- ◆募集期間：平成 28 年 4 月 1 日（金）～平成 28 年 8 月 31 日（水）17：00
- ◆支援企業数：20 社（20 社に到達するまで、随時募集・選定します）
- ◆支援メニュー
 - ・海外市場開拓・輸出アドバイス（1 社に 1 人、輸出経験豊富なアドバイザーを選任）
輸出戦略の策定、顧客開拓、商品の PR 方法、海外展示商談会出展、商談の進め方、外国語契約書締結、等のアドバイスを実施します。
 - ・海外展示商談会出展助成
（海外展示商談会出展助成金：上限 30 万円）
 - ・金融支援（横浜市経済局金融課との連携メニュー）

↓支援対象、支援メニュー、申請書類、申請方法などの詳細はこちら

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/kaigai/kaigaihanro/>

<お問い合わせ>

横浜市経済局誘致推進課

TEL：045-671-3834

E-Mail：ke-kokusai@city.yokohama.jp

■□■

6. -----■□■

<横浜市より> ～出展助成申請受付開始のお知らせ～

【「海外展示商談会出展助成金」申請受付開始のお知らせ ～12/28】

横浜市は、海外市場の新規開拓や拡大を目指す市内中小企業に対し、海外で開催される展示商談会への出展に要する経費の一部を助成し、外国企業との商談の機会をより多く創出することを通じて、海外市場の開拓を支援します。

[海外展示商談会出展助成金の概要]

◆助成対象者：

横浜市内に本社を置く中小企業で、かつ次の①～⑥のいずれかに該当する企業

- ①平成 28 年度「横浜市中小企業海外市場開拓支援事業」支援対象企業
- ②平成 27 年度までの「横浜市中小企業海外市場開拓支援事業」支援対象企業
（平成 23～25 年度「横浜市中小企業海外販路開拓事業」支援対象企業含む）
- ③平成 27 年度「横浜市中小企業外国出願支援事業助成金助成対象者」（※）
- ④平成 27・28 年度「横浜知財みらい企業」
- ⑤平成 26～28 年度「海外進出支援事業事業化可能性調査助成金助成事業者」

⑥平成 26・27 年度「横浜市成長発展分野育成支援助成金助成事業者」(※)

※③⑥は、それぞれ助成の対象となった事業に係る出展が対象となります。

※詳細は市ホームページ掲載の募集要項をご確認ください。

◆助成限度額：

・上記①の対象者：30 万円

・上記②～⑥の対象者：20 万円

※詳細は市ホームページ掲載の募集要項をご確認ください。

◆助成金の対象経費：

出展料（小間代、登録料など出展に際してかかる費用）、会場設備費（ブース装飾費、追加備品費、水道光熱費等）、出品物の輸送通関費、出品及び出品物輸送通関に係る保険料、出展に伴うカタログ作成・印刷費

◆対象期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日に海外で開催される展示商談会

◆申請期限：対象展示会（事業）実施の 1 か月前（最終締切：平成 28 年 12 月 28 日（水））

↓申請書類、申請方法などの詳細はこちら

<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/kaigai/kaigaitenjikai/>

<お問い合わせ>

横浜市経済局誘致推進課

TEL：045-671-3834

E-Mail：ke-kokusai@city.yokohama.jp

■□■-----

7. -----■□■

<広報協力> ～IDEC よりお知らせ～

【韓国「釜山・鎮海経済自由区域」投資説明会～韓国経済自由区域を活用したアジア戦略とは？ 6/10】

韓国第二の都市である釜山に位置する釜山・鎮海（ジンヘ）経済自由区域（BJFEZ）は、外国企業が韓国進出を推進するために整備された経済特別区域の一つです。

この地域では、簡素化された行政手続、税制優遇措置や資金支援などのワンストップ行政サービスのもと、製造、観光、物流産業をはじめとした開発事業を営むことができます。

本セミナーでは、この経済区域を活用した北東アジア戦略について、日系企業の成功事例を交え解説致します。

韓国政府戦略について BJFEZ 担当から直接話を聞ける貴重な講演です。

皆様のご参加、お待ちしております。

◆日時：平成 28 年 6 月 10 日（金） 15：00～17：00

◆会場：横浜情報文化センター6階 情文ホール

（横浜市中区日本大通 11 番地）

<http://www.idec.or.jp/shisetsu/jouhou/access.php>

- ◆参加費：無料
- ◆対象：韓国の地方自治体への投資及び韓国企業との連携に興味のある
横浜を中心とした企業
- ◆定員：150名（定員になり次第締切）
- ◆内容：
 - 15：00－15：20 主催者紹介、開会辞
 - 15：20－15：30 広報動画上映
 - 15：30－16：00 投資環境説明 「BJFEZのビジネス環境とインセンティブ」
BJFEZ PM 姜泳完氏
 - 16：00－16：25 投資企業成功事例 「釜山ハブを活用したソリューション」
韓国日本通運（株）代表理事社長 鳥本信二氏
 - 16：25－16：50 質疑応答
- ◆申込締切：平成28年6月9日（木）
- ◆主催：駐駐横浜大韓民国総領事館、釜山・鎮海経済自由区域庁（BJFEZ）
- ◆共催：公益財団法人横浜企業経営支援財団（IDEC）
- ◆後援：神奈川韓国商工会議所、横浜商工会議所、ジェトロ横浜

↓詳細・お申し込みはこちら

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=807>

<お問い合わせ>

（公財）横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

TEL：045-225-3730

E-mail：global@idec.or.jp

■□■-----

8. -----■□■

<広報協力> ～IDECよりお知らせ～

【上海デザインビエンナーレ 横浜ブース出展のご案内！ 9/1～3】

上海デザインビエンナーレ国際デザイン展示会は、プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、アーバンデザイン等に関する展示会で今回で8回目の開催となります。今、中国企業は日本の持つ技術力だけでなく、デザインへの関心も高めています。展示会では、デザイナーワークショップやビジネス商談会なども行われますので、中国企業の持つデザイン力や、日本企業に求めるものについて情報収集いただける

絶好の機会になると思います。

IDEC では、本展示会内に横浜ブースを設け、出展する企業を募集しています。
なお、主催者との連携により、IDEC からの紹介で出展料が半額となりますので、
ご関心をお持ちの方は、まずはご連絡ください！

- ◆会期：平成 28 年 9 月 1 日(木)～3 日(土)
- ◆会場：中国上海展覧中心
(上海市静安区延安中路 1000 号)
- ◆出展料：横浜市内企業 6,000 元/1 ブース (3m×3m) ※通常料金 12,000 元の半額
日本円で約 109,000 円
- ◆対象：横浜市内に事業所を持つ中小企業
- ◆申込締切：平成 28 年 6 月 17 日 (金)

↓詳細・お申し込みはこちら

http://www.idec.or.jp/kaigai/whats_new/20160506131538.php

<お問い合わせ>

(公財)横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

TEL : 045-225-3730 FAX : 045-225-3737

E-mail : global@idec.or.jp

■□■-----

9. -----■□■

<広報協力> ~ジェトロ横浜よりお知らせ~

【神奈川県内企業様のための“新輸出大国コンソーシアム”をぜひご活用ください！！】

ジェトロと自治体・関係機関・商工会議所／商工会・金融機関などで構成する【新輸出大国コンソーシアム】を御社海外ビジネス展開にぜひご活用ください。

【新輸出大国コンソーシアム】とは…

★ 特徴① ★ 地域の各支援機関が協力して支援を行います！

ジェトロが事務局となり神奈川県を中心とした自治体・関係機関・商工会議所／商工会・金融機関などと共に、中堅・中小企業のための海外ビジネス展開支援ネットワークとして本コンソーシアムを構築しました。

「チーム神奈川」を合言葉に、神奈川県から世界へ羽ばたく皆さんを後押しします。

★ 特徴② ★ 「新輸出大国コンシェルジュ」をジェトロ横浜に配置！

各企業様からのご質問、ご相談、支援のご依頼にコンシェルジュがいつでも対応。

ジェトロやコンソーシアム参加機関の支援サービスへとおつながしします。

★ 特徴③ ★ 下記ジェトロ専門家による強力な個別支援を提供します！

◇ 新輸出大国パートナー（ハンズオン支援）

海外ビジネス経験豊富なパートナーが、情報収集から計画策定、現地視察、販路開拓、商談立会い、契約締結まで一貫支援します。

- ・ 次回公募は 6 月ごろを予定。
- ・ 支援期間は 2017 年 3 月 31 日まで。
- ・ 1 次審査（書類）、2 次審査（面談）あり。
- ・ ご参考資料⇒ <https://www.jetro.go.jp/services/expert/hands-on.html>

◇ 新輸出大国エキスパート（スポット支援）

基準認証・外国人材活用・英文貿易実務・海外展開策定支援などの専門分野に長けたエキスパートがお申込みの都度ご相談に応じます。

- ・ 詳細⇒ <https://www.jetro.go.jp/services/expert.html>

【 新輸出大国コンソーシアム 】 ご利用方法

- TPP 加盟国を中心とした海外ビジネス展開に取り組んでいる、あるいは今後、取り組む予定である。
- ジェトロ専門家による海外ビジネス展開支援がぜひとも必要だ。
- ジェトロ以外の支援機関の情報がほしい。利用したい。

上記 3 項目に当てはまる中堅・中小企業の方は、ぜひ下記までお問合せください。

<お問い合わせ>

日本貿易振興機構（ジェトロ）横浜貿易情報センター

コンシェルジュ：柴原

TEL: 045-222-3901

Email: YOK@jetro.go.jp

■□■-----

WBC では下記のサービスを行っております。

- グローバルビジネスに関する相談（貿易相談など）
- レンタル・オフィスの提供および入居者のビジネス相談
- 引き合い情報の提供
- WBC メールマガジンの発行
- Facebook での情報発信

横浜ワールドポーターズのご案内

WBC は横浜ワールドポーターズの 6 階に入居しています。
横浜ワールドポーターズは、「いろんな世界がここにある」というコンセプトのもと、ファッション、インテリア、雑貨、グルメ、フードなど個性豊かなショップが揃うエンターテインメントショッピングセンターです。5 階には 3D 対応のイオンシネマみなどみらいも併設されており一日中お楽しみいただけます。

<http://www.yim.co.jp/index.html>

WBC メールマガジン発行について

横浜ワールドビジネスサポートセンター（WBC）は、横浜市からの委託を受け、下記事業者が管理運営業務を実施しています。

発行者： 横浜ワールドビジネスサポートセンター
〒231-0001 横浜市中区新港 2-2-1
横浜ワールドポーターズ 6 階
TEL: 045-222-2030 FAX: 045-222-2088
<http://www.ywbc.org/>
<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>

事業受託者： 株式会社パソナ
〒100-8228 東京都千代田区大手町 2-6-4
TEL: 03-6734-1270 FAX: 03-6734-1274
<http://www.pasona-global.com/>

事業委託者： 横浜市経済局 誘致推進課
〒231-0017 横浜市中区港町 1-1
TEL: 045-671-3834
<http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/yuchi/>

◆本メールマガジンに関してお心当たりの無い方は、本メールをこのままご返送ください。

◆本メールマガジンへのご感想ご要望は、mmq@ywbc.org

をお願い致します。

◆購読申し込み、購読中止手続き <http://www.ywbc.org/mm/>

©;株式会社パソナ 無断転載を禁じます。
